

## 「博士課程教育リーディングプログラム」中間評価結果

機関名	名古屋大学	整理番号	N01
プログラム名称	フロンティア宇宙開拓リーダー養成プログラム		
プログラム責任者	國枝 秀世	プログラム コーディネーター	田島 宏康

### ◇博士課程教育リーディングプログラム委員会における評価（公表用）

#### 【総括評価】

一部で計画と同等又はそれ以上の取組もみられるものの、計画を下回る取組であり、本事業の目的を達成するには、助言等を考慮し、一層の努力が必要である。

#### 【コメント】

リーダーを養成する学位プログラムの確立について、平成 25 年度実施の現地視察での指摘を踏まえて大幅な改善が行われ、プログラム全体として整備が進んだ点は評価できる。ただし、プログラムとしては未だ形成途上と判断される。特に、リーダーシップに必要な資質の涵養方法に関し、未だに明確なイメージを欠いているように見受けられ、グローバルリーダーを養成するという観点から、教育のあり方及びプログラムの構成を再検討し、強化をはかる必要がある。一方、学生の意見を取り入れながらプログラムの改善を図り進めようとしている点は評価できる。

産学官民参画による修了者のグローバルリーダーとしての成長及び活躍の実現性については、企業インターンシップの実施を強く奨励・支援している点が評価できる。インターンシップ制度は軌道に乗っているようであり、アカデミア以外への進出のイメージも学生間で定着しつつあるように見える。今後一層の取組が期待される。

グローバルに活躍するリーダーを養成する指導体制の整備については、組織的な支援体制が構築されつつある点が評価できる。一方で、日常的に英語に接する環境はまだ十分とは言えず、一層の取組が必要である。また、本プログラムの意義について、関係者に十分に理解が浸透しているとは言えず、学生へは勿論のこと、教員に対しても、一層強い働きかけが必要である。

優秀な学生の獲得については、応募者数が減少しており、優秀な学生獲得のための一層の工夫と組織的な取組の強化が必要である。

世界に通用する確かな学位の質保証システムについては、到達度を総合的に評価できるようにするなど質保証システムの構築に努めており、また、質保証の観点から達成すべき内容が定量的に明示されている点が評価できる。

事業の定着・発展について、リーディング大学院推進機構による総長を中心としたマネジメント体制が整備されている点は評価できる。ただし、支援期間終了後、本プログラムがどのように継続されるか具体的な検討を急ぐ必要がある。